

「マニフェストロードマップ第2版」の策定について

1. 第2版策定の必要性

- ・ロードマップは、常にその進捗状況の把握や評価・検証を行うとともに、社会経済情勢の変化や制度の変革、取組の効果や進捗などに合わせ、柔軟に見直しを図ることを前提に、“第1版”として策定。
- ・第1版策定から1年が経過し、実施済みの取組や手法を変更すべき事項、新たに追加すべき項目等が発生している。
- ・市政の基本ベクトルを指し示すものとして、常に最新の状態で全庁が共有していく必要がある。

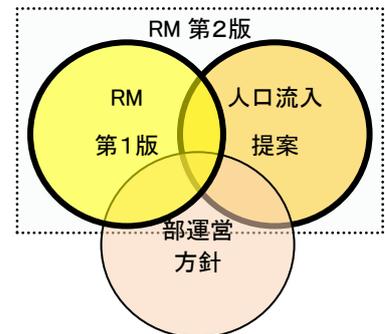
2. 策定の視点

① 第1版の取組状況の把握と成果検証

- ◆ 実施済みの事項（中学校給食など）
⇒ 取組成果の確認
- ◆ 実施中の事項（市民会議、教育連絡会、コンシェルジュ、など）
⇒ 現状成果、課題の把握、スケジュール感、さらなるグレードアップの必要性などの確認
- ◆ 未実施の事項
⇒ 未実施となった要因の検証、必要性や手法の再確認

② 部運営方針・人口流入提案との整合性

- ◆ 部運営方針のうち、RMに関わる事項
- ◆ 人口流入提案のうち、実施の方向で進めている事項
（住宅政策、多機能保育ステーション、小中一貫校の研究など）



第2版の策定

- ◆ 上記①および②を踏まえ、第1版の【目標設定】【達成時期】【政策手段】【スケジュール】の見直し・追加
 - ・実施中である、またはさらなるグレードアップをめざす事項
 - ・理念は合致しているが、手法を変更する事項
- ◆ 新たに盛り込むべきビジョンや項目